

# 労務安全衛生管理夏季講座のご案内

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会

TEL 045-662-5965 FAX 045-201-7122

## いろいろな業種・事業場の方々と 労務安全衛生について意見交換をしてみませんか？

この夏季講座は長年にわたり、事業場の人事労務関係者、安全・衛生管理者、産業医及び産業保健従事者が参加のもと、労務安全衛生に関するその時々ホットな話題を取り上げ、いろいろな業種・事業場の方々と意見交換を行い、今後の業務に活かしていただく場として開催しています。

今年度は「労働安全衛生マネジメントシステムのISO規格化へ向けた最新動向」「難病や障害、がんやメンタルヘルスを抱えている人への就労支援」「化学物質管理の実際」をテーマに開催いたします。

人事労務関係者、安全・衛生管理者、産業医及び産業保健従事者など多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

**日 時** 平成27年7月16日(木) 13:00 ~ 18:30

**会 場** ホテル横浜ガーデン

横浜市中区山下町254 TEL 045-641-1311

◎JR根岸線「関内駅」下車<南口>より徒歩3分

地下鉄「関内駅」下車<横浜スタジアム方面出口>より徒歩4分

地図は、参加券に明示します。

**会 費** 8,230円 <資料代・意見交換会費・消費税込>

# 分 科 会

## 〔第1分科会〕

### 「労働安全衛生マネジメントシステムのISO規格化へ向けた最新動向」

2013年、労働安全衛生マネジメントシステム(以下 OHSMS)のISO(ISO45001)規格化が加盟国により承認され、2016年10月の国際規格発行に向けて開発が進められています。

ISO化により、既に何らか OHSMS 規格を取得している各社だけでなく、規格を取得していない会社にも少なからず影響をおよぼす状況となってきました。

そこで、ISO化に向けた最新動向について、労働安全衛生・環境マネジメントシステムのエキスパートで労働安全/労働衛生コンサルタントでもある以下の講師をお招きし解説していただきます。

同氏はマネジメントシステムの利点とともに、陥りやすい落とし穴にも熟知されており、あくまで現場に軸足を置くことを強調されている方です。

ISO化のメインテーマに加え、現在、職場で問題視されている「安全担当の技能伝承」を挙げ、各種講習で好評を得ているバーチャルサイトツアー（現場巡視での視点のポイント）の一部もご紹介していただきます。

本分科会を通じて知見を深めていただくとともに、ご参加の皆さん相互の情報交換や具体的な事例についての討議を通じて、今後の各企業・事業場での取組み等に役立てていただきたいと思います。

座 長 株式会社 東芝 横浜事業所

円子 裕

<講 演>

テーマ : 「労働安全衛生マネジメントシステムのISO規格化へ向けた最新動向」

および「安全担当の技能伝承」について

環境ワークス株式会社

代表取締役 黒崎 由行 氏

<グループ討議>

グループリーダー

労務管理委員会委員

教育委員会委員

## 〔第2分科会〕

### 「難病や障害、がんやメンタルヘルスを抱えている人への就労支援」

－産業保健看護職の役割と人事労務の連携－

医療技術の進歩等により、がん、肝炎、難病、糖尿病、脳・心疾患やメンタルヘルス関連疾患などの多くは、治療を継続しながら働く疾患に変化してきています。

国の施策においても「がん対策推進基本計画」、「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」、及び「労働者のこころの健康の保持増進のための指針」では、治療と職業生活の両立支援が取り組むべき課題となっています。

また、企業にとっても、少子高齢化が進展する中、人材育成した労働者が治療と仕事を両立し職業生活が送れるよういかに支援するかが重要となっております。

さらに、障害者雇用対策の側面からも、雇用率の引き上げが求められ、CSR(企業の社会的責任)への関心の高まりもあり、既に多様な人材の就労を実践している企業もみられるところ です。

一方、労働者にとって、病気や障害を持ちながら「働くこと」は重要な意味を持ちます。しかし、就労上の問題で悩んでいる労働者がいることも現実です。

以上のとおり、労働者の治療と就労を両立に向け、個別性を考慮した職場環境や支援体制などの支援をいかに進めるかが、国及び企業の重要課題となっております。

今回、難病患者・障害者の就労支援でご活躍されている、北里大学医学部 公衆衛生学 助教 医学博士 江口 尚先生をお招きし、難病や障害、がんやメンタルヘルスを抱えている人への就労支援について、産業保健看護職の役割と人事労務の連携の視点からご講演いただくことになりました。

ご講演の後、グループ討議も予定しております。

各事業場の人事・労務担当者、産業保健職、衛生管理者等でご活躍されている多数の皆様のご参加をお待ちしております。

座 長 日本電気株式会社 玉川事業場

篠田 薫

<講 演>

テーマ : 「難病や障害、がんやメンタルヘルスを抱えている人への就労支援」

北里大学医学部 公衆衛生学 助教 医学博士 江口 尚 氏

<グループ討議>

グループリーダー

産業保健活動委員会委員

## 【第3分科会】

### 「化学物質管理の実際」

～化学物質リスクアセスメント（コントロール・バンディング）の進め方～

平成26年6月の労働安全衛生法改正に基づき、平成28年6月までに化学物質リスクアセスメントの実施が施行となる予定です。トルエンやアセトンなどの有機溶剤、クロム酸や塩酸、硝酸などの特定化学物質等、640物質が対象となるため、化学物質を使用する多くの職場で、化学物質リスクアセスメントが義務化されます。

このような動向を踏まえて、今年のテーマでもあった「コントロール・バンディング」について、今回は、中央労働災害防止協会より、コントロール・バンディングの専門の先生をお招きして解説します。

さらに、参加者のみなさんには、SDS（安全データシート）やスマートフォン・タブレット・パソコンをお持ちいただき、厚生労働省から提供されている無料ソフトを体験実習していただくことも考えております。（注※）

また、化学物質管理をどのように進めているのか事例をご紹介いただいたあと、参加者みなさんによるグループ討議にて、日ごろの悩みや問題点の解決に向けた情報の交換をしていただきたいと思います。衛生管理者はもちろんのこと安全衛生推進者、安全担当者、労務担当者など、多くの方のご出席をお願いいたします。

座 長	齊労働衛生コンサルタント事務所 椎野労働衛生コンサルタント事務所	齊 健一 椎野 恭司
-----	-------------------------------------	---------------

#### <講 演>

テーマ1： 「リスクアセスメントにおけるコントロール・バンディングの進め方」

14:00 ～ 15:00

中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 副所長 荒木 明宏 氏

テーマ2： 「化学物質管理の事例」

15:10 ～ 16:10

（化学物質使用事業場を予定）

#### <グループ討議・発表>

16:20～17:30

グループリーダー 労働衛生技術委員会委員・衛生管理推進委員会委員

注※ 下記のものをお持ちの場合、当日お持ちください。

- ① SDS
- ② スマートフォン・タブレット・パソコン（いずれか）

〔体験実習の際の通信費用は、各自でご負担いただきます〕